



おくたま 町議会だより

第182号

平成 29 年 8 月 5 日発行



編集・発行 奥多摩町議会 電話 0428-83-2302(直通) 奥多摩町ホームページ <http://www.town.okutama.tokyo.jp/>

奥多摩町議会議員管外視察研修

7月11日(火)から13日(木)まで、議員管外視察研修で新潟県佐渡市へ行ってきました！



《十河伸一講師(しんちゃん先生)・メンバーのみなさんと記念撮影》

和太鼓を使った認知症予防の取り組みエクサドン(EXADON)を体験。

澤本議員 70～80歳代の方が本当に元気で楽しく健康増進・介護予防・認知症予防を行っていることがわかりました。いざエクサドンをやってみると、以外に難しく、緊張しました。それがこの事業の目的になっていることを実感しました。

★視察報告を11、12ページに掲載しています。



第2回定例町議会

第2回定例会は、6月13日から6月15日までの、会期3日間にわたり開催されました。

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも全議員の賛成により、原案のとおり承認、可決、同意されました。

専決処分

○議案第28号
平成28年度一般会計補正予算
(第7号)

○議案第29号
町税賦課徴収条例の一部を改正する条例

○報告第1号

平成28年度一般会計予算繰越
明許費繰越計算書

条 例

○議案第30号
町営住宅使用条例の一部を改正する条例

○議案第31号
職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

○議案第32号
一般職の職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

契 約

○議案第33号
災害時非常持ち出し用品購入契約について

人 事

○議案第34号
固定資産評価審査委員会委員の選任の同意

島崎軍治氏 (再任)
(留浦617番地)
岡部益雄氏 (再任)
(境327番地)

○人権擁護委員候補者の推薦
人権擁護委員、原島貞夫氏の任期満了に伴い、同氏を推薦することに適任と判断しました。

原島貞夫氏 (再任)
(丹三郎180番地)

補正予算

○議案第35号
平成29年度一般会計(第1号)

議会だよりのご感想を およせください

また、議会に対するご意見・ご要望等がありましたら、お気軽に議会事務局までお知らせください。

第3回定例会

9月5日頃から予定
しています。
詳細は、町ホームページ、
防災行政無線でお知らせ
します。
皆様の傍聴をお待ち
しています。

一般質問

平成 29 年第 2 回定例会では、11 名の議員が一般質問を行いました。ここでは、紙面の都合により、内容を要約して質問者順に掲載しています。質問・答弁の全文は、8 月中旬頃より、ホームページで閲覧できます。(町ホームページ～町議会～会議記録)

また、町内各図書館でも会議録をご覧いただけます。



QRコード

町ホームページは、スマートフォン・タブレット端末等でもご覧いただけます。

(1) 6 番 石田 芳英議員 (4 ページ)

①林道等の整備状況と今後の整備計画や方針について

(2) 10 番 村木 征一議員 (4 ページ)

①国民の祝日・山の日制定と記念イベントについて

(3) 9 番 原島 幸次議員 (5 ページ)

①町の観光用公衆トイレの清掃について

(4) 3 番 澤本 幹男議員 (5 ページ)

①子供の学校外での安全対策について

(5) 11 番 師岡 伸公議員 (6 ページ)

①歩いて貯金の健康づくりを

(6) 8 番 高橋 邦男議員 (6 ページ)

①小河内地域の活性化のために“小河内観光の振興”を

②町の「元気なまちづくり推進事業」について

(7) 1 番 木村 圭議員 (7 ページ)

①公共工事より発生する建設副産物処理について

(8) 7 番 宮野 亨議員 (7 ページ)

①高齢社会の孤独・ひきこもりに対してレンタルロボットをについて

②有害鳥獣の捕獲檻について

(9) 4 番 清水 明議員 (8 ページ)

①棚沢地域の災害に備えた道路整備について

②小型無人機「ドローン」と自動走行バスの動向について

(10) 5 番 小峰 陽一議員 (8 ページ)

①奥多摩町公共施設等総合管理計画(平成 28 年 3 月策定)について

②一般住宅の耐震診断・耐震改築に補助金の支給を！

(11) 2 番 大澤 由香里議員 (9 ページ)

①「特別徴収税額の決定通知書」へのマイナンバー記載について

②就学援助制度について

③米軍機の低空飛行訓練について



問 林道等の整備状況と今後の整備計画や方針について。

答 第5期長期総合計画に基づき、計画的に開設事業並びに改良事業を実施。補修等が必要な林道には維持補修工事等を実施。

石田 林道は通り抜けが出来て初めて道としての機能や役割を発揮するものと考えているが、行き止まりの林道が多い状況である。①今までの林道等の整備状況の概要は。②今後の林道等の整備計画や方針は。③セラピロード等として観光のために活用している町道もあるが、ガードレールの色が白で汚い所もある。茶系に統一して景観改善につなげてみては。

町長 ①開設事業では、延長1千250mの名坂線林道開設工事を平成24年度から6カ年計画で進め、今年度で完了予定。改良事業では、30年以上経過している林道が多いことから、落石やのり面の崩壊が頻繁に発生して危険なため、各路線の整備を実施。②川井グリーンビレッジから大丹波対岸に向けて開設を進めていた林道熊沢線について、民宿熊沢までの2千400mを林道として開設し、残り192mを町道南平熊沢線として整備を進めている。平成31年度には大丹波川をまたぐ延長32mの橋梁を設置し、都道202号線と接続して川井と大丹波が循環できるようになり、住民皆様の利便性の向上や災害対策にも十分な機能が果たせると考えている。住民の生活道路として利用されている路線については、生活に支障がないよう日常点検を行うとともに、維持補修工事を計画的に実施していく。③自然景観の保全は大切なことであるが、町では視認性に一番優れている白色のガードレールを設置し、車両事故等の抑制・住民の安全・安心の確保に努めている。ガードレールの汚れ等は今後の道路管理業務で対応していく。

問 国民の祝日・山の日制定と記念イベントについて。

答 雲取山記念イベントを開催。

村木 国民の祝日山の日が昨年、平成28年8月11日、16番目の国民の祝日として施行された。山に親しむ機会を得て山の恩恵に感謝するという趣旨で制定された。町にも東京都最高峰の雲取山をはじめ多くの山々が点在するが、今年は西暦2017年と雲取山の2017mに合わせて何か記念イベントを計画しては。

町長 日本百名山のひとつ雲取山の標高2017mと数字が重なることから町でも雲取山記念イベントを開催。2017年雲取山記念講演として本年8月20日(日)に町内在住の世界的な登山家である山野井泰史氏と、元青梅警察署奥多摩山岳救助隊副隊長として長年尽力された金邦夫氏によるトークショーなどを計画している。また、共催及び後援を募っていて、2017雲取山イベントラリーを計画している。山のふるさと村では、8月11日に山の日特別フェア、夜のイベントとして、ペルセウス座流星群・星・観察会を。都民の森では8月11・12日に、雲取山を望むと題し、大岳山の登山を計画している。国や都、日本山岳会などの関係機関とも協働しながら可能な限りの記念イベントを開催し、観光立町奥多摩をPRし、3年後に迫る2020東京オリピック・パラリンピックに向けて観光客の増加を図っていく。



問 町の観光用公衆トイレの清掃について。

答 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催までに日本一観光用公衆トイレがきれいなまちを実現。



原島 観光用公衆トイレの清掃及び改修工事について①トイレ清掃の委託先は。②全ての観光用公衆トイレ清掃の対応は。③観光用公衆トイレの今後の改修計画等は。

町長 ①平成29年度は4月より、古里・氷川地区20か所の観光用公衆トイレを奥多摩総合開発株式会社へ委託。②現在委託している20か所以外の21か所についても移動時間や清掃の質などを考慮し、今後は奥多摩総合開発株式会社に清掃作業を委託する方向で検討。③町内41か所の観光用公衆トイレのうち改修工事完了が8か所、改修を行うトイレが22か所、建替えが必要なトイレが3か所、周辺の状況との兼ね合いで建替えや撤去の検討が必要なトイレが8か所。平成29年度の改修計画は22か所であるが、観光用公衆トイレの改修設計委託を実施し、優先順位を付けて計画的に改修工事等を行う。



問 子供の学校外での安全対策について。

答 コミュニティ・スクールを活用し、子どもたちの安全安心な生活を確保していく。

澤本 学校だけでなく地域として子供を育て、守っていくことも重要であり、通学時にも必要がある。①地域から子ども110番の家や防犯連絡所等の協力をいただいているが現在の状況は。②今後学校外の安全対策をどう考えているか。

教育長 ①古里地区が、67件、氷川地区が82件、計149件の家庭、事業所などが子供110番の家に登録されていて、すぐ分かるように旗を目立つ所に掲げていただいている。今後も緊急避難先の拡大を図っていく。②今年度から奥多摩中学校を、来年度から古里・氷川小学校をコミュニティ・スクール(※)に指定し、地域や家庭の皆様力を借りて教育活動のより一層の充実を図る取り組みを進めていく計画でいる。



※コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律(地教法第47条の6)に基づいた仕組みのこと。



問 歩いて貯金の健康づくりを。

答 新たなポイント制度の導入について、関係各課と連携して協議し、実施に向けて検討。

師岡 ウォーキングでポイントをもらい、かつ、お金を貯められる、高齢者の健康づくりを後押しする仕組みが全国に広がっている。導入している自治体では医療費の抑制効果、健康づくりの意識高揚など徐々に効果が表れつつあり、医療・介護に係る費用を考えると中長期的には元が取れるという判断のようである。もしも奥多摩で実現できたらなら集めたポイントは地域通貨に還元し、地元で消費するシステムにはしては。

町長 ポイント制度の導入について、平成27年第4回定例会で宮野議員から「高齢者のボランティアポイント制度・導入を」という一般質問を受け、平成29年度の導入に向け検討すると申し上げた。実際には第6期介護保険事業計画期間中の最終年度ということもあり、実施できなかったが、現在策定作業を行っている第7期介護保険事業計画のなかで検討したいと考えている。大規模な自治体では、対象者を限定した制度が設けられ、それぞれの対象者ごとにインセンティブが付与されているが、その方法だと、町では混乱を招くと考える。全てのポイントを一律に積算し、一定のポイント数により、インセンティブを付与することで、より参加しやすい制度となるのではないかと考える。実効性があり、長期継続可能なポイント制度の導入について、関係各課とも連携して協議し、実施に向けて検討していきたいと考えている。

問 小河水地域の活性化のために”小河水観光の振興”を。

答 若者の定住、観光の振興に全力で取り組む。

高橋 小河水地域の活性化のためには、小河水観光の振興を図り、地域活力源を生み、雇用の場の拡大にもつなげることが必要であると考える。①

小河水観光の拠点を整備することや湖面を含めた観光環境の充実を図っては。②小河水地域の活性化について町の考えは。

町長 ①小河水ダム周辺の土地は、水源涵養・水質保全を目的に都水道局が所有していることから湖面利用も含め、現段階ではダム周辺に施設を建築することは、町単独では難しい状況。②住民皆様から寄付していただいた空家に、若者に定住してもらおうと若者定住支援事業を展開している。この事業を小河水地域・日原地域に展開していく予定。今後も若者の定住、観光の振興に全力で取り組んでいく。

《その他の質問》

高橋 現在の元気なまちづくり推進事業の状況と今後の方針は。

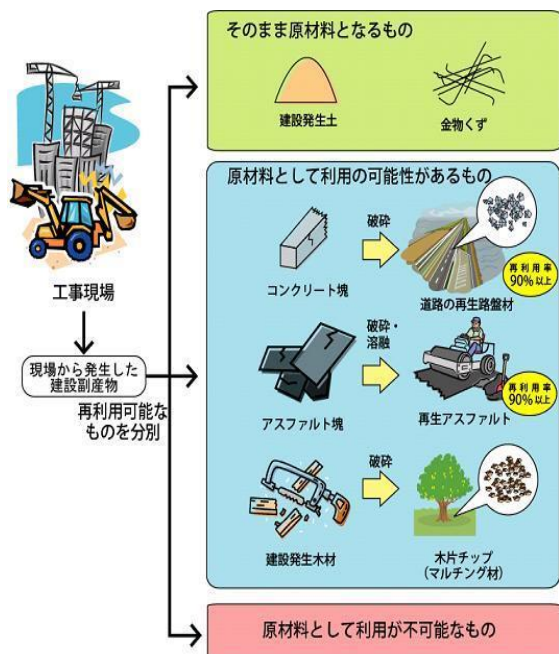
町長 事業開始から3年目となる平成29年度までに申請16件、採択14件、支援額については、3か年で331万5千円という状況。申請された事業は、住民を中心とした元気なまちづくり委員会委員9名による審査を行い、基準得点以上となった事業について採択し、支援金を交付する方式を取っている。この事業は3か年の時限事業としているので、3年間ごとに事業を継続するか否かを委員会の委員とともに、判断をしながら実施している。





問 公共工事より発生する建設副産物処理について

答 適切な処理と再資源化に努め、さらなる減量に努める。



木村 ①町の公共工事より発生する建設副産物のここ5年間の減量方策と処分量は。②今後の新たな減量方策は。

町長 ①町では、建設土砂や産業廃棄物の処理について、従前から国土交通省及び東京都リサイクルガイドラインに基づき、適正な処理とその減量に努めてきた。平成24年度から平成28年度の5年間の建設残土は、1万2千625³m³、建設副産物は、コンクリート577³m³、アスファルト301³m³、金属くず0.3³m³、がれき20³m³、碎石6³m³となっている。②建設副産物の減量対策については、公共工事における適切工法の選択等により、建設発生土の抑制を図るとともに、建設副産物についても、適切な処理と再資源化に努めることで、さらなる減量に努めていく。



問 高齢社会の孤独・ひきこもりに対してレンタルロボットの導入を。

答 今後の研究課題とする。

宮野 一人暮らしの高齢者の認知症予防や離れて暮らす家族にも安心していただける高齢社会の実現のためにコミュニケーションロボットの貸し出しを。

町長 町では、平成23年度より、希望する高齢者世帯に生活状況に応じて反応する、生活リズムセンサーを設置。365日24時間電話を通じて看護師と会話することで、日常の不安を解消することができ、「高齢者見守り相談事業」を実施。専門の見守り相談員が、定期的に町内の一人暮らし高齢者宅を訪問し、必要に応じて地域包括支援センターにつなげるなど、地域全体を見守る体制を取っている。平成28年4月には、生活に直結した事業者と、見守りネットワーク協定を締結し、行政と民間事業者が協力して高齢者世帯を見守る体制を構築している。また、認知症予防として、希望により地域の自治会単位で、認知症サポーター養成講座を開催している。こうした事業を通じて高齢者の見守りと認知症予防に努めていることからロボットの導入は、今後の研究課題とする。

《その他の質問》

宮野 有害鳥獣を効率よく捕獲できる檻の導入を。

町長 猟友会との連携を図り、銃器や箱罠、足くくり罠による捕獲を強化し、町民の皆様が安心して農作物が栽培できるよう、さらなる獣害対策を進める。



問 棚沢地域の災害に備えた道路整備について

答 国道411号線の危険個所の補修等について、迅速に対応するよう要望を引き続きしていく。

清水 棚沢では多摩川左岸の急傾斜地、崩落危険個所を多摩川に沿って国道が開削されたため、過去に大きな崩落が発生し、国道が通行止めとなった。この危険性の高い道路には未だ安全な歩道が確保できない状況にある。棚沢地域を例に災害に備えた道路整備計画の考えは。

町長 国道411号線の棚沢将門付近の歩道設置やウツボ沢付近の急カーブの改良等については、以前から都西多摩建設事務所に要請しているが、現在、多摩川南岸道路の建設に全力を挙げており、決められた予算配分の中で多摩川南岸道路の建設と国道411号線の改良を合わせて行うことは、非常に困難であると回答されている。町としても悲願である多摩川南岸道路を優先してもらおうよう要望するとともに、国道411号線においても、危険個所の補修等について、迅速な対応をお願いしている。棚沢地域は、将門まで南岸道路が完了しており、今後、丹三郎の吉野街道まで全線が開通すれば、有事における道路事情に障害もなく、多摩川南岸道路が、その機能を十分に発揮してくれるものと考えている。

《その他の質問》

清水 小型無人機「ドローン」と自動走行バスの動向について。町の取り組みは。

町長 NII（※）と共同研究の契約を結び、小型無人機ドローンの実証実験及び研究を継続して進めている。

※NIIとは大学共同利用機関法人 情報・システム研究開発機構国立情報学研究所

問 一般住宅の耐震診断・耐震改築に補助金の支給を！

答 引き続き調査、検討していく。

小峰 近年、大災害が発生することが予想され、災害発生時に被害を最小限に留める対策を積極的に推進する必要がある。対策の一つとして、建物の耐震診断・耐震改築の費用の一部を補助しては。

町長 町では、一般家屋に対する耐震診断等の助成は実施していない。助成制度を実施している近隣自治体では、費用に対する補助金が100%交付されず、自己負担があることから申請が少ない状況。町における一般住宅の耐震診断、耐震改修の助成制度については、東京都耐震改修促進計画の目標も見据えながら、引き続き調査、検討する。

《その他の質問》

小峰 町公共施設等総合管理計画について。①資金の調達は。②更新スケジュールは。③公営栃久保住宅は新耐震基準の建物か。④更新時期の順番は。⑤公営日向住宅、栃久保余ヶ野住宅の老朽化の考慮を。⑥更新時期の建物における住民説明会の余裕をもった実施を。

町長 ①公営住宅では、国の社会資本整備総合交付金や防災・安全交付金。町営住宅では、国の起債や東京都振興基金といった借入金。他に町の積立金である公共施設等整備基金の活用が考えられる。②社会情勢や入居者との協議状況により、実施時期を適宜見直していく必要がある。③旧耐震基準の建物。④公営住宅等長寿命化計画策定指針により決定。⑤修繕計画に併せ実施。⑥居住者の理解と協力を得ることが重要であるため、説明会を適宜実施する。



2番 大澤由香里議員



問 「住民税特別徴収税額の決定通知書」へのマイナンバー記載について。

答 法令・通知等に基づき、適切な対応を図っていく。

大澤 住民税特別徴収税額通知書は、会社等が従業員の給料から天引きする住民税の額を、地方自治体が会社等へ知らせるためののだが、総務省

が示した通知書の標準様式に今年度から個人番号欄が設けられた。町では従業員個人番号が記載された通知書を各事業所に配達したが、受け取った事業主から困るとの苦情が寄せられた。今後、通知書に個人番号を記載するべきではないと思うが、町の考えは。

町長 マイナンバー法及び地方税法の規定に基づき、地方税法施行規則が改正され、平成29年度分から個人番号を記載することとなった。制度開始にあたり、総務省自治税務局から特別徴収税額通知への個人番号記載に関するQ&Aが送付され、法令に基づき、従業員の個人番号を記載した特別徴収税額通知を送付することとなること、特別徴収義務者に対し個人番号の提供をしていない者など、給与支払報告書に個人番号の記載がない者の個人番号についても特別徴収税額通知に記載することになることが改めて示された。町ではこれら法令、通知等に基づき、個人住民税特別徴収税額決定通知書へ個人番号を記載し通知することとした。今後も法令・通知等に基づき、適切な対応を図っていく。

《その他の質問》大澤 就学支援制度について。入学準備金を入学前に支給を。教育長 入学前に新入学児童生徒用品費が支給できるように、要綱改正をしていく。

《その他の質問》大澤 米軍低空飛行訓練について。訓練情報の事前連絡は。町長 連絡を受けたことはない。今後は瑞穂町等基地周辺自治体との連絡体制を整え、情報提供を受けるとの情報収集に努めていく。

議会日誌

5月

- 9日 身体障害者福祉協会総会
- 12日 西多摩郡町村議会議長会総会
- 16日 東京都町村議会議長会役員会・総会・講演会
- 17日 老人クラブ連合会総会
- 19日 三多摩地区消防運営協議会役員会・総会
- 20日 奥多摩中学校体育大会
- 21日 双葉会法人設立55年・寿楽荘設立50周年・琴清苑設立40周年記念式典
- 22日 防火女性の会懇親会
- 23日 全国森林環境税創設促進連盟総決起大会
- 24日 経済厚生常任委員会視察研修
- 26日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会理事会・総会
- 27日 青梅商工会議所懇親会
- 27日 古里小学校運動会
- 29日 春の交通功労者等表彰式
- 29日 奥多摩観光協会総会
- 31日 全国町村議会議長・副議長研修会

6月

- 1日 移住体験住宅内覧会
- 4日 奥多摩カップカー大会
- 10日 氷川小学校「命の日」
- 奥多摩木村奨学会合同会議
- 17日 小中PTA連絡協議会総会
- 19日 宮城県山元町議会視察来町
- 22日 三か町村議会議員広域連絡協議会定期総会
- 29日 民舞踊連盟おさらい会
- 長崎県平戸市議会視察来町

7月

- 3日～4日 西多摩郡町村議会議長会優良町村視察(北海道河西郡芽室町)
- 8日 奥多摩郷土芸能保存団体協議会定期総会
- 9日 消防団ポンプ操法審査会
- 10日 東京都町村議会議員公務災害補償等組合議会臨時会
- 11日～13日 議員管外視察研修(新潟県佐渡市)
- 15日 第55回少年少女スポーツ大会開会式
- 18日 雲取山登山(奥多摩小屋及び周辺状況視察)
- 19日 西多摩地区議長会定例会議
- 議会だより編集委員会
- 20日～21日 全国森林環境税創設促進議員

連盟総会（高知県高知市）

22日 第50回東京都町村総合体育大会開会式

24日 三鷹立川間立体化複々線促進協議会・多摩地域都市モノレール等建設促進協議会合同総会

26日 東京都町村会・町村議会議長会合同会議・結団式

27日 東京都町村議会議長会要望活動

28日 西多摩地域広域行政圏協議会審議会

三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会

31日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会

常任委員会視察研修

経済厚生常任委員会

平成29年5月24日（水）

「奥多摩・武蔵野の森」のシカ被害による森林整備の現状及び観光に資する森林資源整備事業を実施した現場視察を行いました。

観光に資する森林資源整備事業の現場である、本仁田山山頂周辺の現場を視察しました。この事業は、観光振興を図る目

《本仁田山山頂にて》



的として、眺望、景観に着目して、森林観光ルートの環境整備を行うもので、今まで本仁田山山頂は、木々に覆われ見晴らしがあまり良いとは言えず、観光・登山客が重視する眺望、景観という要素に対して十分な環境整備がされておりました。そこで平成27年度に本事業を実施し、山頂周辺立木を南側515本、西側25本伐採。視察当日は薄曇りであいにく、東京スカイツリー、富士山の姿は見えませんが、伐採による効果が十分に確認することが出来ました。

《道中の案内板》



《単木ネット》



その後、川乗ウスバ地区の「奥多摩・武蔵野の森」へ向かいました。この森は、ニホンジカによる食害で裸山となっていたところに、平成16年の大雨により大量の土砂が流出し、町の水道施設にも大きな被害があった場所で、その後、武蔵野市からの提案により、自然環境や多摩川の水源地を守るため、武蔵野市、奥多摩町、公益財団法人東京都農林水産振興財団の三者で協定を結び、この地区の整備をすることとなったものです。山の斜面を安定させるための丸太筋工を設置して斜面を安定させ、豊かな森林づくりとして広葉樹を植栽し、シカの被害から植栽木を保護するために「単木ネット」と「シカ進入防止柵」を設置しました。シカ進入防止柵には、地表面に草を生やし植生回復を促す効果もあるそうです。また、見回り管理、植栽、保育等森林整備も実施し、植生調査などを行ってきており、その結果、草木の無い裸山だったところは草が繁茂し、地表面が安定したことで土砂の流出が抑制され、現状では、植栽木も順調に成長し、植生が回復しており、緑豊かな森となりました。今回の視察を通し、森林を持つ奥多摩町の重要性を再確認することができたとともに、森林保護と水源涵養に深いご理解を示してください。関係者のご努力に感謝申し上げます。

管外視察研修報告

7月11日から13日まで町議会の議員管外視察研修が行われ、議員12名、加藤副町長、澤本事務局長、原島主任の総勢15名で新潟県佐渡市を視察してまいりました。この佐渡市への研修視察の目的として3つの事業を取り上げました。

- ① 若者U・イターン就職支援事業
- ② 地域の活力向上事業
- ③ 佐渡ならではの認知症予防・介護予防事業

《佐渡市役所における研修会の様子》



○事業別の主な研修内容

① 若者U・イターン就職支援事業では、佐渡市は高校を卒業とともに多くの若者が島を離れ、自然減と合わせ年間千人規模で人口の減少が進んでいる。地域の過疎化、空き家の増加や地域活力が問題となっている。その問題について、U・イターンを促進し、人口増加による地域の活性化をどのように目指しているかについて説明を受けました。

② 地域の活力向上事業では、「大学と連携した地域活性化実証事業」と「地域活動支援事業」についての取組や助成制度等の説明を受けました。

③ 佐渡ならではの認知症予防・介護予防事業では和太鼓を使って、ころと身体と健康づくり「エクサドン」を体験しました。



☆研修の感想

木村議員 ②について、近々に町で問題となると思います。佐渡市の取組は充実した地域活動支援ですので参考になりました。

大澤議員 ③について、非常に楽しく体験させていただいたエクサドンも限られた人数で、参加する方も固定化されていることが予想されます。町が行っているヘルシー体操も場所や回数を増やすなどの改善が必要だと思えます。エクサドンのような新しい取組を入れて選択肢を増やすことも必要だと感じました。

澤本議員 ①について、移住相談体制を平成15年度から始めていて、町よりも早くから対策をとってきていました。佐渡市でもU・イターンサポートセンターを開設し、近年では力を入れたため成果が出てきた様子です。町も少しずつ継続してU・イターンをしていくことが大切だと思いました。

清水議員 ③について、日頃、目にするあるいは耳にする情報が数多く取り入れられた和太鼓を使った取組に感心しました。伝統芸能

を活かしたことで無理のない、しかも親しみ易く長続きのする活動に担当者の努力・情熱を感じました。

小峰議員 ②の大学と連携した地域活性化事業について、佐渡市の方法を参考に、町なりの方法を考え、取組んではどうでしょうか。

石田議員 ③について、エクサドン太鼓教室を体験し、認知症予防には効果的で、町でも導入を検討してみてもどうかと思いました。

宮野議員 ③について、アルツハイマー病予防のための7つの習慣のうちの一つ、「社会的・知的に刺激になる活動をする。」をどのように具現化していくか、考えていきたいと思いました。

高橋議員 ③について、生き生きと活動している高齢者のみなさんの姿を拝見して町においても、町の資源を活用した取組を考えていきたいと思えます。

原島議員 ②の大学と連携した地域活性化事業の推進により、元気で活力ある地域づくりを推進していることに、大変おもしろい事業であるとともに、町としても大変

参考になるのではないかと思います。

村木議員 ③について、和太鼓を使った認知症予防の取組は大変参考になり、町でも取組むことができる事業だと感じました。

師岡議員 ①について、過疎地の市町村におけるU・イターン対策は、全国共通であり、大きな器で考えれば、人の取りあいである。その地域に合った、特化した発想をどのように作っていくかが課題だと思いました。③について、楽しく参加できる事業に価値を感じました。

須崎議員 ①について、故郷の魅力を伝える事の大切さを感じました。③について、エクサドン参加者の笑顔が印象に残り、指導者の魅力を感じました。

《サドッキー》



議 員 会 雲 取 山 登 山 (奥 多 摩 小 屋 現 状 視 察 及 び 周 辺 清 掃)

7月18日(火) 雲取山へ行ってきました。

雲取奥多摩小屋は、昭和34年に東京都国体の登山競技のため建設され、55年以上が経過し、傷みが激しく解体する方向で検討しています。今年度は、老朽化が著しい部分の一部取り壊しを行っており、その現状を視察してきました。また、奥多摩小屋周辺に捨てられていたゴミが、周辺を覆っていたスズタケが枯れた(60年周期)ことにより、都水道局水源管理事務所が発見。町と共同でゴミ回収作業を行うこととなりました。《当時は、家庭ゴミも畑に穴を掘って埋める時代だったため、山で出たゴミもその場に埋めておりました。》ゴミ回収作業は、町、都水道局水源管理事務所が共同で実施しており、短時間ではありますが、我々議員も回収作業を行ってきました。

《ゴミ回収を終え、記念撮影》



《ゴミ回収作業の様子》



編集後記

今年(西暦2017年)は、奥多摩町が誇る日本の百名山である雲取山(標高2017m)であり、登山者達からは「雲取イヤ」と言われています。登山の専門誌にも取り上げられており、多くの登山者が訪れると思います。

近年、山頂近くにある町営奥多摩小屋の周辺から大量のゴミが出てきました。笹が枯れる時期を迎えたために発見されましたが、これは戦後の登山ブームの時代に捨てられた古いゴミです。町では職員が清掃登山を何度も行っており、先月には我々議員も職員と一緒に清掃登山を行いました。

今回、ゴミが捨てられてから半世紀も経って発覚されました。これを教訓として、議員一同、町の為に子や孫から半世紀後に良かったと言われる様により一層の努力をしたいと思っております。

- 村木 征一 (澤本 幹男)
- 師岡 伸公
- 原島 幸次
- 宮野 享

